



スリップ事故を起こさないために！

冬に気を付けなければならないのが、スリップ事故です。車のスリップは、運転手の操作に起因して発生します。道路のどんな場所が滑って止まりにくくなるのかチェックしておき、より慎重な運転で、スリップ事故を防ぎましょう。

1 交差点付近

多くの車が停止・発進を繰り返す交差点やその付近では雪が押し固められ、路面が滑りやすくなっています。

車間距離を十分とり、いつでも停止できるよう、早めに減速しましょう。積雪で道路幅が狭くなった場所では、前車に続いて走行し、車列の側方を通り抜けないようにしましょう！



2 緩い下り坂やカーブ

緩やかな下り坂やカーブでも、ちょっとしたハンドル・ブレーキ操作で横滑りなどを招く危険があります。

あらかじめ十分に減速し、下り坂はエンジンブレーキを主体に、カーブではアクセルを一定に保って走行しましょう。

急のつく操作をせず、ゆっくりを心がけましょう。



3 日陰

晴れている日でも、陽の当たらない日陰部分は、いつまでも解けずに凍結していることがあります。中でも怖いのがぬれた路面のように見えるのに、実は凍っている「ブラックアイスバーン」です。

注意して走行しましょう。



4 橋の上

風通しがよい橋の上や高架部分は上下から冷やされ凍結しやすいので、注意しましょう。速度は控えめに、ゆっくり一定のスピードで通過しましょう。



5 山間部



気温が低く日陰が多い山間部の峠道は、日中でも凍結している場所が多くあります。また、坂道やカーブも多いため、平地より慎重に運転しましょう。

6 トンネルの出入り口

雪の積もっていないトンネル内は、つい速度を出しがちですが、トンネル内の路面は乾燥していても、出入口数メートル以内は凍結しやすい場所です。トンネルに出入りする際は、凍結を予測し速度を十分に落とし注意しながら走行しましょう。



- 毎月第二・第四水曜日(祝日、年末年始を除く)に新情報をメール配信しています。(申込方法は県警ホームページ参照)
- 二次元コードからSD情報掲載のホームページに直接アクセスできます。→

